

2007年度 決算説明会

2008年5月13日

ITX 株式会社

ITX Corporation

目次

1.人事	新任代表取締役社長の略歴	P4
	新経営体制(6月24日就任予定)	P5
2. 2007年度決算	ハイライト	P7
	見直し比	P8
	前年度比	P9
	投資育成 実績	P10
	機器・販売サービス 業績推移	P11
	機器・販売サービス 主要事業の業績推移	P12
	機器・販売サービス 主要子会社の業績	P13
	機器・販売サービス 主要子会社総括-アイ・ティー・テレコム	P14
	機器・販売サービス 主要子会社総括-ブロードリーフ	P15
	機器・販売サービス 主要子会社総括-KSオリンパス	P16
	有利子負債の圧縮	P17
	ポートフォリオの入替え	P18
	オリンパスとの協業の推進	P19
	3. 2008年度計画	前年度比
投資育成 前年度比		P22
機器・販売サービス 前年度比		P23
機器・販売サービス 主要事業 前年度比		P24
機器・販売サービス 主要子会社別		P25
機器・販売サービス 主要子会社-アイ・ティー・テレコム		P26
機器・販売サービス 主要子会社-ブロードリーフ		P27
機器・販売サービス 主要子会社-KSオリンパス		P28
新たな事業収益基盤の構築		P29
'06経営基本計画：最終年度の取組み		P30

ITX Corporation

2

1. 人事

新任代表取締役社長の略歴

新任代表取締役社長の氏名および略歴

- ・ 新役職名 : 代表取締役社長
(旧役職名) (取締役 兼 企画本部長)
- ・ 氏 名 : 中塚 誠 (なかつか まこと)
- ・ 生年月日 : 昭和32年9月9日
- ・ 略 歴 : 昭和56年 4月 オリンパス光学工業株式会社(現オリンパス株式会社)入社
平成16年12月 オリンパスリース株式会社取締役(現任)
平成17年 1月 当社 社長補佐
平成17年 6月 当社 取締役(現任)
尚、5月31日付けにてオリンパス株式会社は退職予定です。

就任予定日

平成20年6月24日

新経営体制(6月24日就任予定)

新役職	氏名	備考		現役職
取締役会長	菊川 剛	重任	非常勤	オリンパス㈱ 代表取締役社長
代表取締役社長	中塚 誠	重任		取締役 兼 企画本部長
取締役常務執行役員	半澤 彰一	重任		取締役 兼 業務本部長 兼 総務・法務部長
取締役執行役員	鈴木 達	新任		顧問
取締役	友森 宏	重任	非常勤	取締役(非常勤)
取締役	森 久志	重任	非常勤	取締役(非常勤)
取締役	川田 均	新任	非常勤	オリンパス㈱ 新事業関連会社統括本部長
監査役	林 真一	継続		監査役
監査役	林 純一	継続	非常勤	監査役(非常勤)
監査役	杉本 繁実	継続	非常勤	監査役(非常勤)
監査役	中西 義典	継続	非常勤	監査役(非常勤)
執行役員	熊谷 隆一	重任		執行役員
執行役員	日比 博邦	新任		社長付外向(OLYMPUS NDT CORPORATION 取締役)
執行役員	中埜 寛一郎	新任		企画本部 管理部長
執行役員	松岡 修	新任		投資・育成本部 事業育成グループ グループリーダー

2. 2007年度決算

2007年度決算 ハイライト

1.業績予想を利益ベースで概ね達成

2.主要事業の着実な成長

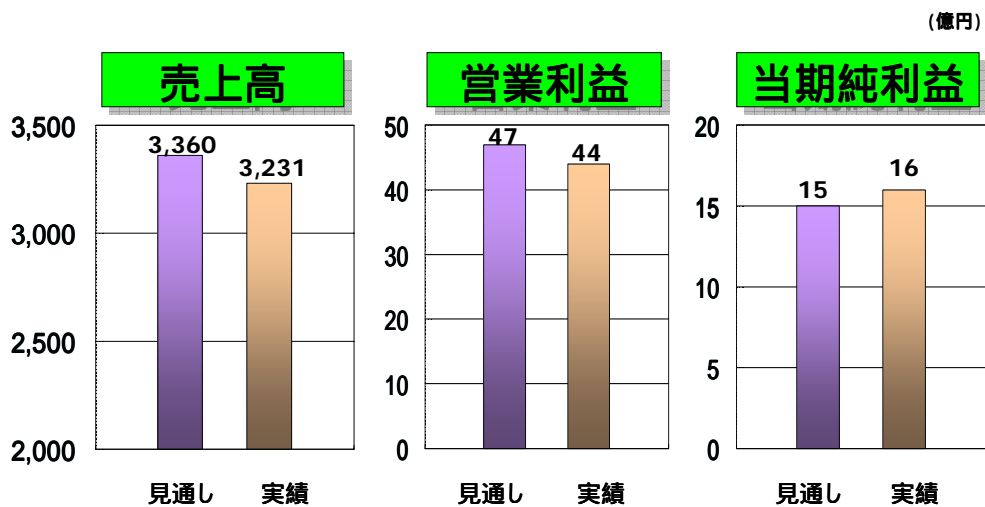
3.単体有利子負債を大幅に圧縮

4.約100億円のポートフォリオの入替え

5.オリンパスとの協業の推進

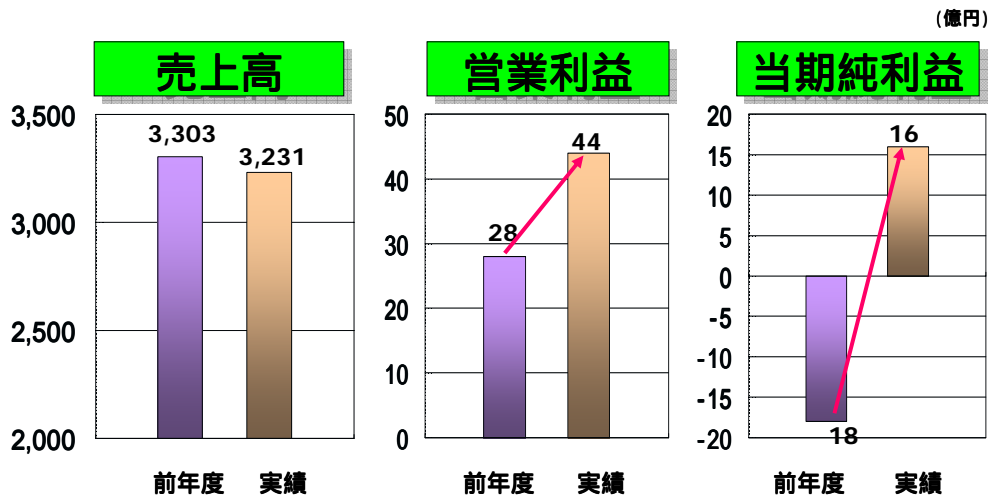
2007年度決算 見通し比

利益ベースで概ね達成



2007年度決算 前年度比

若干の減収ながらも大幅な増益を達成



投資育成 実績

投資育成売上高

(億円)	新規公開に伴う売却	M&Aによる売却	その他	合計
06年度売却額	2(1社)	40(4社)	7(7社)	49(12社)
07年度売却額	4(1社)	40(7社)	44(5社)	88(13社)

営業利益ベースでは6億円と前年比 3億円

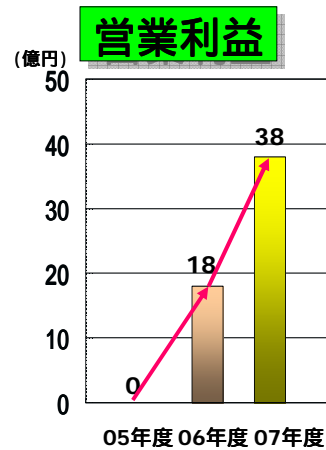
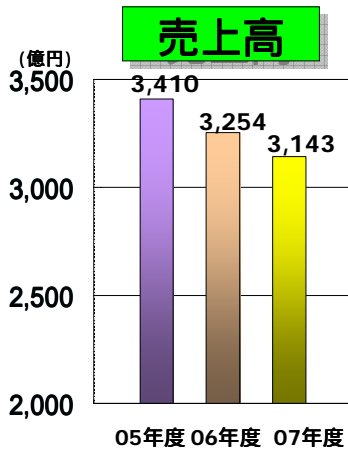
投資育成実行額

(億円)	新規投資	追加投資	合計
06年度実行額	47(21社)	4(8社)	51(29社)
07年度実行額	45(10社)	8(6社)	53(16社)

関係会社、投資有価証券等も含めた07年度の総投資額は 88億円

機器販売・サービス 業績推移

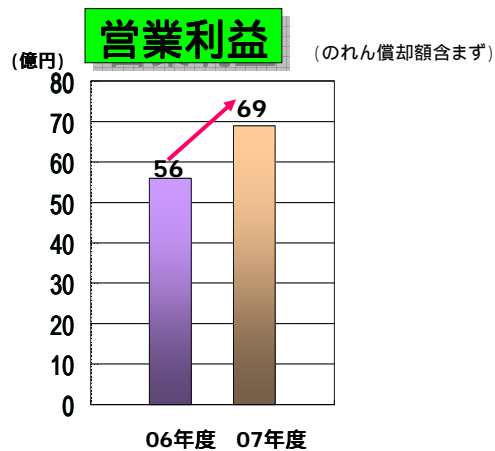
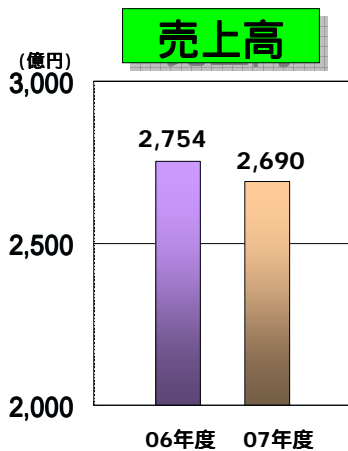
安定的な事業収益の基盤構築が着実に進捗



機器販売・サービス 主要事業の業績推移

主要事業が利益ベースで着実に成長

(携帯電話販売・自動車アフターマーケット・医療3事業の合計額)



機器販売・サービス 主要子会社の業績

営業利益で見通しを達成

(億円)

アイ・ティー・テレコム	06年度	07年度見通し	07年度実績
売上高	2,140	2,154	2,020
営業利益	33	37	37

ブロードリーフ	06年度	07年度見通し	07年度実績
売上高	167	173	169
営業利益	12	15	16

KSオリンパス	06年度	07年度見通し	07年度実績
売上高	349	367	371
営業利益	11	12	12

機器販売・サービス 主要子会社総括-アイ・ティー・テレコム

店舗数の拡大
前年度比37店舗増の284店舗

法人営業の強化
法人への携帯電話・ブロードバンドソリューション
の販売が好調に推移し、売上総利益で
前年比139%増を実現

収益構造の改善(営業利益率:前年度比0.3%up)
直接販売(直営店+法人)比率のアップ及び
販管費の抑制等により、収益性が向上

機器販売・サービス 主要子会社総括-ブロードリーフ

収益力の向上

製品販売単価のアップ

保守・データメンテナンス費等付帯収益の確保

経営資源の選択と集中

「.NS」シリーズの販売強化

不採算事業(POS事業)からの撤退

子会社(クルマデドットコム・シー・エス・ジェー)
の清算

機器販売・サービス 主要子会社総括-KSオリンパス

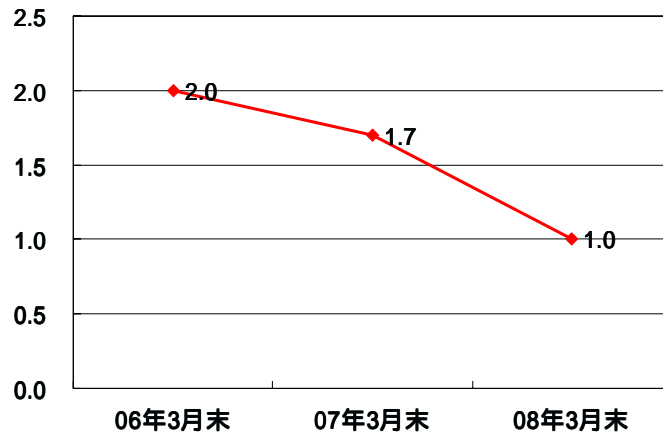
医療機器・科学機器・工業機器分野の全分野にて
過去最高の売上高を達成

< 売上構成 >

- ・医療機器: 234億円(前年度比: 107%)
- ・科学機器: 59億円(前年度比: 113%)
- ・工業機器: 79億円(前年度比: 102%)

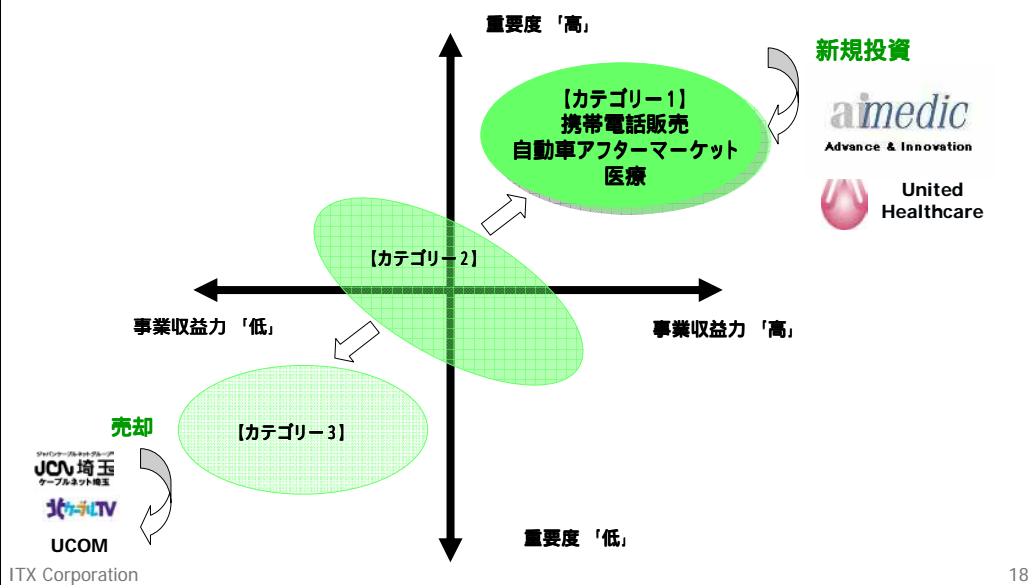
有利子負債の圧縮

単体ネット有利子負債倍率: 1.0倍を達成



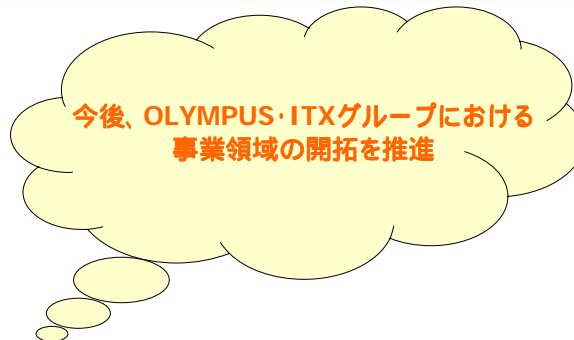
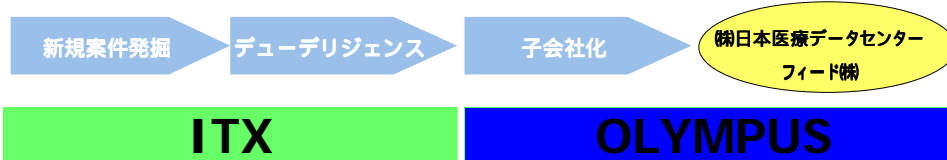
ポートフォリオの入替え

約100億円の入替えを実施



オリンパスとの協業の推進

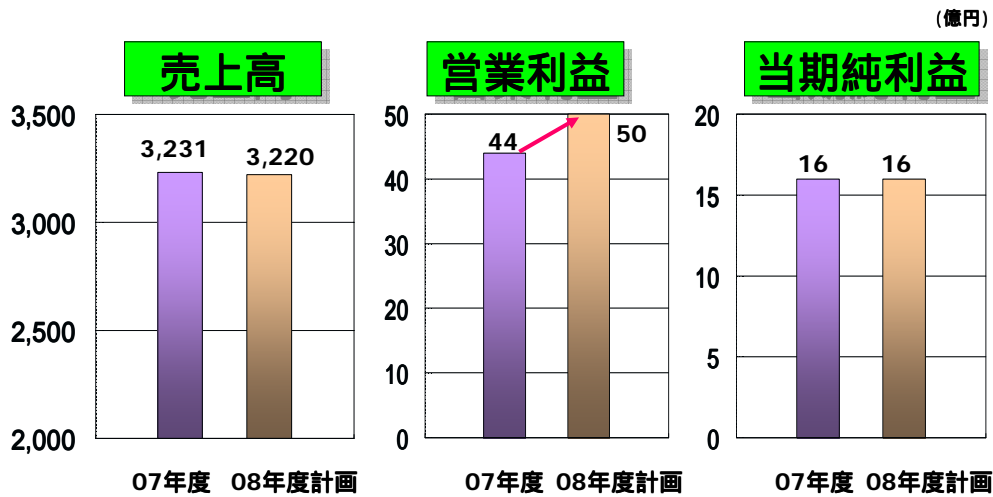
オリンパスのヘルスケア分野における ベンチャー企業子会社化を支援



3. 2008年度計画

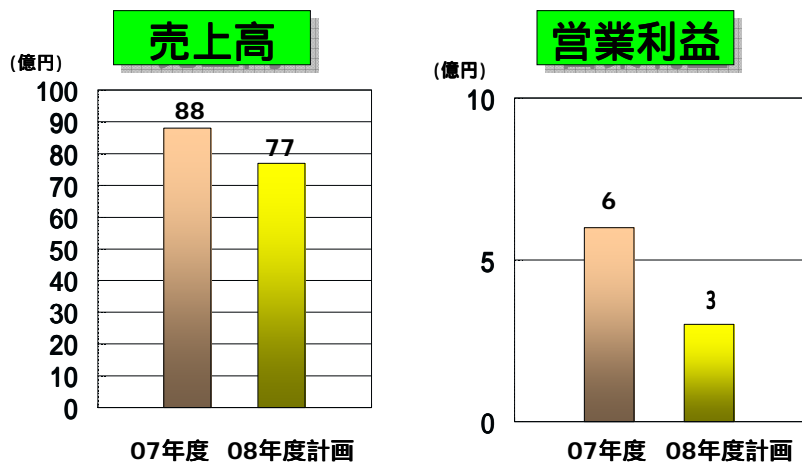
2008年度計画 前年度比

営業利益で6億円の増益の見込み



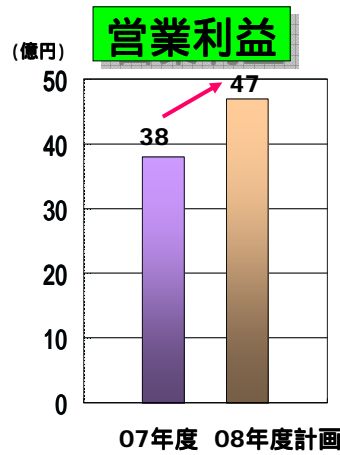
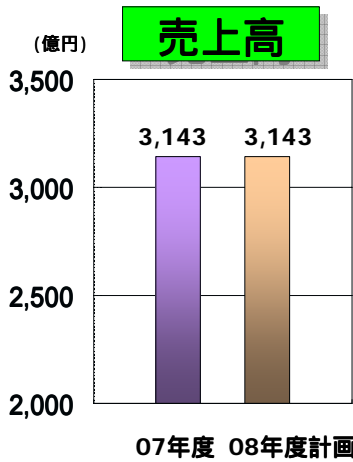
2008年度計画 投資育成 前年度比

売上高77億円、営業利益3億円を見込む



2008年度計画 機器販売・サービス 前年度比

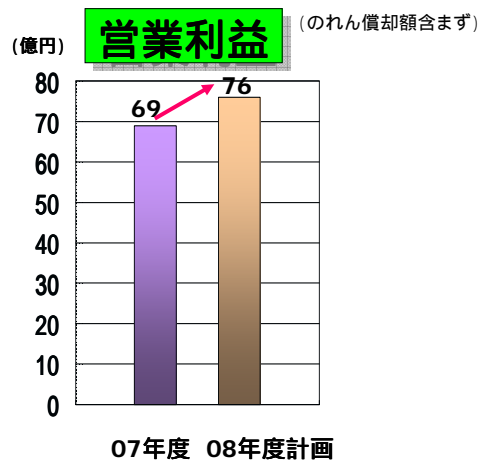
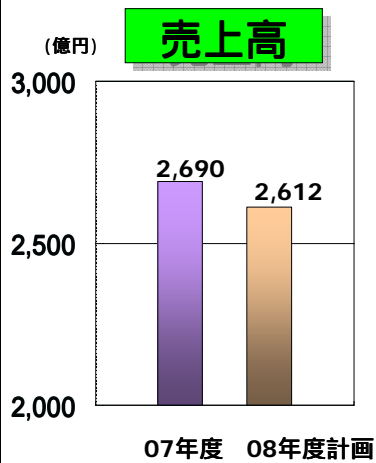
営業利益で9億円の増益の見込み



2008年度計画 機器販売・サービス 主要事業 前年度比

営業利益で7億円の増益の見込み

(携帯電話販売・自動車アフターマーケット・医療3事業の合計額)



2008年度計画 機器販売・サービス 主要子会社別

ブロードリーフが増収増益の見込み

(億円)

アイ・ティー・テレコム	07年度実績	08年度計画	増減
売上高	2,020	1,917	103
営業利益	37	37	0

ブロードリーフ	07年度実績	08年度計画	増減
売上高	169	177	+8
営業利益	16	20	+4

KSオリンパス	07年度実績	08年度計画	増減
売上高	371	365	6
営業利益	12	12	0

2008年度計画 機器販売・サービス 主要子会社-アイ・ティー・テレコム

収益力の更なる向上

市場の変化に対応し、直営店については質・量両面を充実させ、また量販店ルートでの収益性の向上を図る。

販売チャネルの効率化及び拡大

7月のドコモによる地域ドコモの合併を睨み、販売における流通等の効率化を図るとともに、全国レベルでの販売チャネルの拡大を目指す。

法人営業の強化

法人営業部の人員を強化し、直販による携帯電話の販売及び代理店販売による光回線販売の拡大を図る。

成長商材(「.NS」シリーズ)の販売拡大による
収益構造の再構築

保守・データメンテナンス費等の付帯収益力の向上

コスト管理の強化

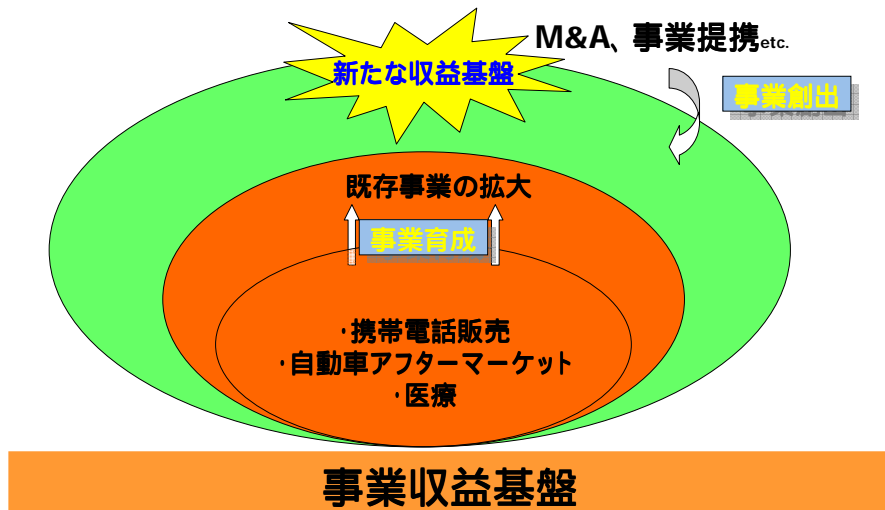
医療機器: 消化器・処置具・外科事業の成長

科学機器: 既存顧客への価値提供強化

工業機器: 新規顧客獲得率の向上

2008年度計画 新たな事業収益基盤の柱の構築

M&A、事業提携等により新たな収益基盤の柱を構築



2008年度計画 『06経営基本計画』 最終年度の取組み

3つの課題を完遂する1年

3つの取組み課題

「安定的な連結事業収益基盤の構築」の更なる強化

「投資サイクルの加速」による継続的なポートフォリオ最適化

財務基盤の改善

安定的な収益構造の上に事業創出機能を持つ
企業グループを形成